

# 北総モラルアップ通信



～チーム北総 思いを伝え合い認め合う職場づくりのために～

コロナウイルスの感染が確認されてから1年以上経ちますが、いまだ収束の目途はたっていません。そのような状況下、子供たちのためにできること、安全・安心で信頼される学校にするために様々な取組をされている先生方に敬意を表します。

各学校で「絶対に無くそう！」と常に声をかけ合い、取り組んでいる「不祥事根絶」についても、北総教育事務所管内の懲戒処分「0」記録は継続しており、7月30日現在で「637日」を数えます。これからも記録を更新し、永遠に懲戒処分のない学校を目指しましょう。

## 今月のテーマ「身近にある不祥事！」

チーム北総 今年度のキーワードは、

トリプルC ☆チャンス チェンジ チャレンジ

ピンチをチャンスに、進化のためのギアチェンジ、信頼される学校づくりにチャレンジ

「不祥事」と聞くと「わいせつ・セクハラ」「体罰」「飲酒運転」「公金横領」など懲戒処分になるものと思いがちですが、実はそうではありません。懲戒処分となる法的根拠の多くは「信用失墜行為の禁止違反」です。つまり、教職員として、公務員として「信用を失ってしまう行為」全てが不祥事だと言えます。そう考えると先生方の身近にたくさんの不祥事が潜んでいます。

そこで、今号では、「身近にある不祥事！」と題してもう一度自らの行動を振り返り、本当の意味での不祥事根絶を図りましょう。

### こんなことはありませんか？

#### ★「自動車税、固定資産税」の滞納(納入期限 5月31日)

税金を納めるのは国民の義務です。先生方は子供たちに「決められた約束は守りましょう」と指導をしていると思います。税金は決められた期日までに納入しなければなりません。滞納する先生を子供たちや保護者のみなさんは信用できるでしょうか。

#### ★「速度超過」「一時停止違反」「ながら運転」等の違反

一般道30km/h以上、高速道路40km/h以上の速度超過は停職・減給又は戒告の懲戒処分となる場合があります。30km/h以下でも法定速度を守らなければ反則金の処分を受けます。道路交通法を守らない先生を子供たちや保護者のみなさんは信用できるでしょうか。

#### ★ファミリーレストランや外出先で学校や学級の話。

不特定多数が集まる場所で、大きな声で学校や学級のことを話している先生を保護者のみなさんや、地域の方は信用できるでしょうか。

#### ★「買物ポイント」のゲット！

学校や学級で使うものをPTA会費や学級費で購入する際、ポイントを自分の持っているポイントカードへ加算する。また、一時的に自分のカードで支払い、後で学級費から現金を受け取る。他にも、後で返すからと一時的に学級費を私的に使い、後に学級費に返す。これらは懲戒処分の対象になります。例え一時的であってもこのような行為は認められません。

◎今までの統計から、不祥事は夏季休業中に起こる割合が高くなっています。ぜひみんなで不祥事を防いでいきましょう。

ポイントは…「その行いは『えっ?!』と思われないか？」

こんなことも… 子どもや保護者、地域の方からの信用を失ってしまうかもしれない行動を書いてみましょう。そして、みんなで共有しましょう。中には「えっ?!これも?」「ますい…」なんてことがあるかも。

## ☆キラリ輝く取組！

5月下旬から学校訪問をしています。昨年度は9月以降から短い時間での訪問でしたが、今年度は少しゆとりをもって訪問を行っています。すでに北総教育事務所管内の約半分の学校に伺いました。どの学校でも子どもたちが生き生きと活動し、先生方がキラキラと輝く笑顔で子どもたちと向き合う姿を見ることができました。「働き方改革、不祥事根絶、人材育成」について数多くの取組の中から、少しでも紹介したいと思います。ぜひ参考にしてみてください。

働き方改革！

### 週案に「目指す退勤時刻・実際の退勤時刻」を記録！

週案を作る際、「曜日ごとに退勤予定時刻」を記入することで目標時刻を見える化し、時間を有効に活用できます。さらに実際に退勤できた時刻を記録することで働き方を振り返ることができます。管理職からの温かいメッセージもあり、働き方改革を前向きに進めることができます。

退勤する時刻を掲示している学校もありました。「見える化」が重要です。ぜひ参考に！

### 整理整頓で危機管理！

図工や技術・家庭科や理科の授業で使用するため等、学校には刃物がたくさんあります。正しく使うことは大切な学習です。しかし、刃物をきちんと管理しなければ大きな事故や怪我につながります。その刃物をきちんと管理する様々な工夫がありました。

危機管理



写真2



写真1

包丁を鍵のかかるケースに収納(写真1)。番号シールを貼ることで定期的な数の確認が一目でできます。写真1のように小学校では、決められた番号を使うことで誰がどの包丁を使うかわかるようにしていました。また、のこぎりなどは大きな箱に重ねて収納することが多いですが写真のように整理すると管理しやすくなります。(写真2)

事故や怪我を未然に防ぐには…きちんと整理整頓、そのための工夫だと思います。

人材育成

### テーマは何でも！講師は誰でも！見たい、聞きたい、学びたい！

若年層職員の研修で週に1度集まり、研修を行う。ここまではよくある姿ですが、今知りたいこと、悩んでいることなどのテーマを教務主任の先生に伝え、教務主任の先生からテーマに長けた先生へ指導依頼をします。このことにより、若年層が知りたいことを聞くことができるとともに、中堅層やベテラン層の指導力アップも期待できます。若年層の人材育成にとどまらず、学校全体の指導力アップにもつながります。

◎他にもたくさん「キラリ輝く取組」がありました。

## ☆コンゼツ・ノ・ヒント☆

学校訪問をしている中で、不祥事根絶研修会の記録に「ハインリッヒの法則をご存じですか？」という内容で研修したという記録がありました。「ハインリッヒの法則」とは、重大事案(不祥事)1件の裏には、重大事案にならなかった軽微な案件が29件隠れており、さらにその背景には300件のヒヤリハット事案が隠れているという法則です。

重大事案(不祥事)の発端となるような行動を各自がしないことももちろん大切ですが、何より、全職員が不祥事を他人事とせず、当事者意識を持つことが大切です。また、不祥事根絶を図る職場環境づくりも大切です。ぜひ、夏休みの研修等の中で、話し合ってみてください。